

← 食材救出人のおいしい旅路 →

虫とたべるの？



Netherlands

ゼーレン



ゼロ

0円

海の資源は限りない！



FRANCE

BERLIN
アプリで世界中の
果物をハンディック



残り食材やりくり
ディナーの完成！



BELGIUM

みなさん！
フリーフードですよー



キッチン



wastecooking

「食糧危機」を吹き飛ばすエンタメ・ロードムービー

監督:ダヴィド・グロス、ゲナルク・ミッシュ | 配給:ユナイテッドピープル | 2015年/オーストリア/81分



めしあがれ〜

GERMANY
安楽！隣の残りもの



カンヌ国際映画祭テレビ部門2015
最優秀テレビ部門
シルバードルフィン賞

ドキュメンタリー部門
2015
ドキュメンタリー部門
銀賞

PHILIPS ABC Cafe Oisix MOTTAINAI

UNITED PEOPLE

県大 SDGs シネマ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

#04 - Jan. 2019

ゼロ

0円キッチン

日時: 1月8日 (火)

18:15 ▶ 20:00

お問合せ先

TEL: 0749-28-9851
FAX: 0749-28-0220
地域共生センター (谷口)

場所: 滋賀県立大学

カフェテリア (食堂) [A2棟 1階]
(内側の地図をご参照ください)

参加費: 無料 《一般の方もご参加いただけます》

1 貧困をなくそう	2 気候をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

■ 上映作品の紹介

『0円キッチン』

『0円キッチン』はジャーナリストで“食料救出人”のダーヴィドが食料廃棄をなくすため、廃油で走るキッチン・カーでヨーロッパ5ヶ国を巡り、廃棄食材クッキングの旅に出るエンターテインメント・ロードムービーだ。消費社会に生きる私たちは、まだ食べられるのに大量の食料を毎日捨ててしまっている。世界食糧計画によると、世界で生産される3分の1の食料は廃棄されており、その重さはヨーロッパ全体で8900万トン、世界全体では毎年13億トンにもなる。各地で食に関するユニークな取り組みを行う人々と出会いながら廃棄食材料理を振舞い意識変革にチャレンジするダーヴィドの『0円キッチン』の旅から食の現在と未来が見えてくる。

ダーヴィドは「どうやったら捨てられてしまう食材を救い出し、おいしい料理に変えることができるのだろうか？」と問いかけ、廃棄される予定だった食材を救出し、廃棄食材料理を作って出会った人々に届けていく。旅に使うのは植物油で走れるように改造した自らの車で、ゴミ箱で作ったキッチンを取り付けオーストリア、ドイツ、オランダ、ベルギー、そしてフランスへと旅していく。使った廃油は684.5リットル、走行距離は5079km、救出した食材は690kg。彼は食材を救い出しつつ、それぞれの国で食の問題に取り組む活動家たちと出会いアイデアを学んでいく。

オーストリアでは一般家庭を訪問し、冷蔵庫の中を抜き打ちチェック。ドイツでは農家を訪問し、規格外野菜が売れない実態を知る。ベルギーでは欧州議会の食堂でゲリラ的に廃棄食材料理を作り議員たちに食料廃棄問題を訴える。オランダでは未来の食として注目される昆虫で料理を作り小学生たちに食べてもらう。フランスでは1日料理人として漁船に乗り込み、捨てられてしまう魚で料理を作る。ダーヴィドは一流シェフや科学者、そして食材救出仲間たちと共に消費社会における食の無駄をなくすためのチャレンジをしていく。

これから世界人口は100億人に達すると見られている今、食料廃棄の問題は人類全体の問題だ。『0円キッチン』でダーヴィドは、廃棄食材で創造的でおいしい料理を作り人々に届けながら私たちに食の未来のあるべき姿を考えさせる。ダーヴィドのユニークで愉快的な廃棄食材クッキングの旅が始まる。

監督:ダーヴィド・グロス、ゲオルク・ミッシュ 脚本:ダーヴィド・グロス 撮影監督:ダニエル・サメール 編集:マレク・クラロフスキー 音楽:ジム・ハワード 制作:ミスチフ・フィルムズ 制作協力:SWR/ARTE、ORF プロデューサー:ラルフ・ヴィザー 原題:WASTECOOKING 配給:ユニテッドピープル 2015年/オーストリア/81分

(ユニテッドピープル 映画紹介資料より)

■ 県大 SDGs シネマ について

滋賀県立大学では持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動を行っています。SDGsに取り組もうとするときに、何から手をつけるべきでしょうか？私たちは、まず現在の社会にある課題を知り、多様な視座からその課題を捉えることが大切だと考えました。そこで様々な社会課題に触れ、周りの人たちと感想や意見を共有する機会をつくるため、1-2カ月に一度、県大キャンパス内で映画の上映会を開催することにしました。上映後には参加者同士で映画の感想や意見交換をする時間も取りたいと思います。皆さんがこの上映会で社会課題に対して新たな問題意識を発見し、次の一歩を踏み出すきっかけになれば幸いです。

■ 上映場所のご案内

カフェテリア・食堂(下図★)

バス停から屋外のスロープで2階のセンター広場上がり、A2棟にお入りいただき、階段で1階に下りてください。

🚗 お車でお越しの方
北駐車場をご利用ください。

🚌 バスをご利用の方
(行き)
南彦根駅西口 17:46発 →
県立大学 18:03着
彦根駅 17:36発 →
県立大学 18:01着
(帰り)
県立大学 20:07発 →
南彦根駅西口 20:20着

